

冬の交通事故防止運動

新潟県実施要綱

<官公庁>

- 新潟県
- 新潟県警察本部
- 新潟県教育委員会
- 国土交通省北陸地方整備局
- 国土交通省北陸信越運輸局
- 国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局
- 厚生労働省新潟労働局
- 新潟市
- 新潟県市長会
- 新潟県町村会
- 新潟県市町村総合事務組合

<教育関係団体>

- 新潟県小学校長会
- 新潟県中学校長会
- 新潟県高等学校長協会
- 新潟県小中学校PTA連合会
- 新潟県高等学校PTA連合会
- 新潟県専門学校協会
- 新潟県私立中等高等学校協会
- 新潟県幼稚園・こども園連盟
- 新潟県私立幼稚園・認定こども園協会
- 新潟県保育連盟

<交通・運輸関係団体>

- 東日本旅客鉄道株式会社新潟支社
- 東日本高速道路株式会社新潟支社
- 公益財団法人新潟県交通安全協会
- 一般社団法人新潟県安全運転管理者協会
- 公益社団法人新潟県トラック協会
- 公益社団法人新潟県バス協会
- 一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会
- 一般社団法人新潟県自動車整備振興会
- 新潟県自動車販売店協会
- 一般財団法人新潟県自動車標板協会
- 一般社団法人新潟県指定自動車教習所協会
- 一般財団法人新潟県自動車練習所
- 軽自動車検査協会新潟主管事務所
- 陸上貨物運送事業労働災害防止協会新潟県支部
- 独立行政法人自動車事故対策機構新潟主管支所
- 新潟県二輪車普及安全協会
- 自動車安全運転センター新潟県事務所
- 一般社団法人新潟県交通安全施設業協会
- 新潟県高速道路交通安全協議会
- 新潟市個人タクシー事業協同組合
- 一般社団法人日本自動車連盟新潟支部
- 新潟県自転車・軽自動車協同組合

- 新潟県レンタカー協会
- 新潟県ハイヤー交通共済協同組合
- 新潟県自動車車体整備協同組合
- 赤帽新潟県軽自動車運送協同組合
- 新潟県オートバイ事業協同組合
- 新潟県軽自動車協会
- 日本通運株式会社新潟支店
- 新潟県中古自動車販売協会
- 新潟県運転代行協会

<報道関係>

- 株式会社新潟日報社
- 朝日新聞社新潟支局
- 毎日新聞社新潟支局
- 読売新聞社新潟支局
- 産経新聞社新潟支局
- 共同通信社新潟支局
- 時事通信社新潟支局
- 日本経済新聞社新潟支局
- NHK新潟放送局
- 株式会社新潟放送
- 株式会社NST新潟総合テレビ
- 株式会社テレビ新潟放送網
- 株式会社新潟テレビ21
- 株式会社柏崎コミュニティ放送
- 長岡移動電話システム株式会社
- 株式会社エフエムラジオ新潟
- 燕三条エフエム放送株式会社
- 株式会社けんと放送
- 株式会社エフエム新潟
- エフエム角田山コミュニティ放送株式会社
- 株式会社エフエム雷国
- 株式会社エフエムしばた
- 株式会社エフエムとおかまち
- エフエム魚沼株式会社

<青少年・福祉関係団体>

- 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会
- 日本ボーイスカウト新潟連盟
- 新潟県青少年健全育成県民会議
- 一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会

<その他関係団体>

- 新潟県石油業協同組合
- 日本郵便株式会社信越支社
- 一般社団法人新潟県商工会議所連合会
- 新潟県商工会連合会
- 新潟県中小企業団体中央会
- 一般社団法人新潟県銀行協会

- 全国交通運輸労働組合連合会新潟県支部
- 一般社団法人新潟県農業会議
- 新潟県農業機械商業協同組合
- 新潟県農業共済組合
- 新潟県農業協同組合中央会
- 全国共済農業協同組合連合会新潟県本部
- 全国農業協同組合連合会新潟県本部
- 新潟県信用農業協同組合連合会
- 新潟県厚生農業協同組合連合会
- 新潟県酪農業協同組合連合会
- 東北電力ネットワーク株式会社新潟支社
- 新潟県酒造組合
- 新潟県卸酒販組合
- 新潟県小売酒販組合連合会
- 新潟県森林組合連合会
- 新潟県漁業協同組合連合会
- 公益財団法人新潟県生活衛生営業指導センター
- 新潟県すし商生活衛生同業組合
- 新潟県旅館ホテル生活衛生同業組合
- 新潟県料理生活衛生同業組合
- 新潟県社交飲食業生活衛生同業組合
- 一般財団法人新潟県老人クラブ連合会
- 公益財団法人にいがた産業創造機構
- 新潟県医師会
- 公益社団法人新潟県薬剤師会
- 一般社団法人新潟県歯科医師会
- 公益社団法人新潟県看護協会
- 新潟県土地改良事業団体連合会
- 一般社団法人新潟県建設専門工事業団体連合会
- 一般社団法人新潟県空調衛生工事業協会
- 一般社団法人新潟県LPガス協会
- 一般社団法人新潟県解体工事業協会
- 一般社団法人新潟県産業資源循環協会
- 新潟県住宅供給公社
- 一般社団法人新潟県建設業協会
- 一般社団法人新潟県砂利砕石協会
- 新潟県生コンクリート工業組合
- 新潟県電気工事工業組合
- 一般社団法人日本建設業連合会北陸支部
- 一般社団法人新潟県設備設計事務所協会
- 一般社団法人新潟県電設協会
- 一般社団法人新潟県高圧ガス保安協会
- 新潟県印刷工業組合
- 公益社団法人新潟県宅地建物取引業協会
- 新潟県信用組合協会
- 一般社団法人新潟県警備業協会
- 新潟県信用金庫協会
- 日本通信株式会社
- 新潟県生活協同組合連合会

(令和5年4月1日現在135推進機関・団体、順不同)

止まらない 新潟県！

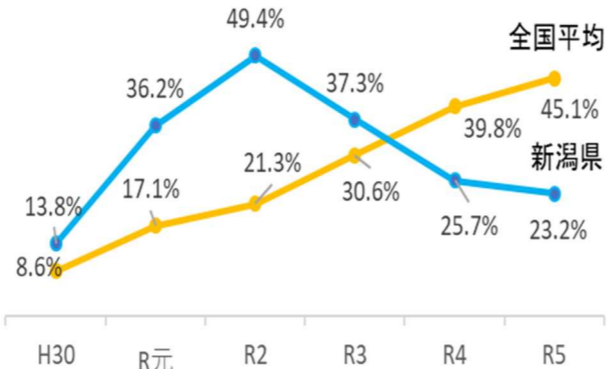
横断歩道一時停止率 23.2% 全国ワースト1位

昨年よりも止まらない。

信号機のない横断歩道を歩行者が渡ろうとしている場合における車の一時停止率の調査結果が公表されました。その結果、全国平均は45.1%と昨年より5.3ポイント増加しましたが、新潟県は23.2%と昨年より2.5ポイント減少し、全国ワースト1位になりました。

ドライバーの皆さん、歩行者に優しい運転に努めて、住んでよし、訪れてよしの新潟県を！

横断歩道は「歩行者優先」



春に向けて自転車ヘルメットの準備を！

警察庁が都道府県ごとに着用率を調べたところ、最も高い県で約60%近くに達した一方、新潟県は約2%あまりと全国ワースト1という結果でした。

警察庁資料(平成30年から令和4年合計)によると、ヘルメット非着用で自転車事故により亡くなった人の約6割は頭部に致命傷を負っていること、また、ヘルメット非着用時の致死率は、着用時と比べて約2.1倍も高くなっていることから、自転車事故による被害を軽減するためには、ヘルメットの着用により頭部を守ることが大変重要です。

自分の身を守るため、春に向けて、ヘルメットの準備をしましょう。



「ハンドルキーパー運動」

「ハンドルキーパー運動」とは、自動車で仲間と飲食店などへ行く場合、お酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が仲間を自宅まで送り届ける運動です。



1 実施期間

12月11日(月)から12月20日(水)

2 目的

この運動は、年末が近づくと、人や車の動きが慌ただしくなるとともに、冬型の気候や飲酒機会の増加等により、交通事故の多発が懸念されることから、県民一人一人に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止を図ることを目的とします。

3 スローガン

『 冬道は 心の余裕と 車間距離 』

4 運動の重点

- ① 横断歩行者等の交通事故防止
～渡るよサインの活用～
- ② 飲酒運転の根絶
- ③ 冬道の安全走行

5 運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、それぞれの実情に即した実施計画を策定するとともに、積極的な広報・啓発活動を行い、県民の交通安全意識の高揚が図られるよう、実効的な運動を展開しましょう。



新潟県交通安全マスコット
ルルちゃん

① 横断歩行者等の交通事故防止～渡るよサインの活用～

ドライバーの皆さん！横断歩道は「歩行者優先」です

- 横断歩行者等の保護は、ドライバーの義務です。
横断しようとする歩行者、または横断中の歩行者の横断を妨害する行為は道路交通法違反です。

—横断歩行者等妨害等違反の罰則関係—

罰則	3月以下の懲役または5万円以下の罰金	
違反点	2点	
反則金	大型車	12,000円
	普通車	9,000円
反則金	二輪車	7,000円
	原付	6,000円

- 横断歩道は「歩行者優先」であり、横断歩行者の保護はドライバーの責任となっています。横断歩道に歩行者がいなかったり、横断歩道の直前で停止できる速度で走行しなければいけません。交差点を通過する際は歩行者の有無を確認し、横断者がいる場合や横断しようとしている人がいる場合には必ず止まりましょう。
- 年末に向けて夕暮れが早まり、17時台に最も歩行者事故が多発します。
前照灯は日没前から、天候に応じて早めの点灯を心掛け、自分の車の存在を周囲にアピールしましょう。
また、前照灯の上向き、下向きをこまめに切り替え、いち早く歩行者を発見できるようにしましょう。

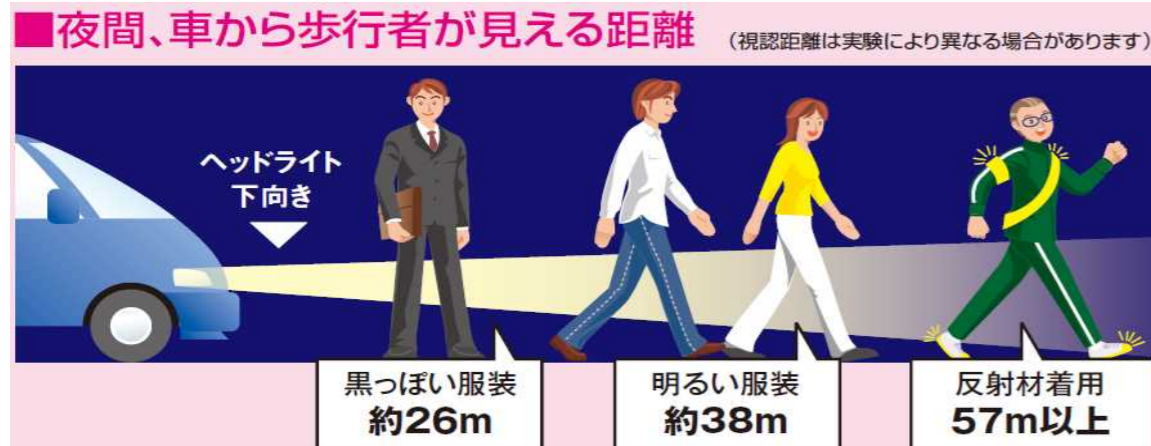
歩行者の皆さん！横断時は「渡るよサイン」

- 12月は1年で最も多く歩行者事故が発生します。
本年10月末現在の交通事故死者数45人（前年比-3人）のうち、当事者別（車、バイク、自転車、歩行者）では歩行者が17人（前年比+6人）と最も多く、昨年と比較して大きく増加しています。
- 夜間、悪天候時は、ドライバーから歩行者が見えづらく、見落とされる可能性があります。
歩行者は、道路を横断しようとするときは、手をあげる、顔や体をドライバーに向けるなどしてドライバーに横断する意思「渡るよサイン」を明確に伝え、車が停止したことを確認してから渡りましょう。
また横断歩道が近くにある場所では、横断歩道を渡りましょう。



歩行者の皆さん！夜光反射材の着用

- 夜間の交通事故防止には、夜光反射材や明るい色の服装が効果的です。
徒歩で外出する際は、自分の身を守るために、明るい服装や夜光反射材を身に付けて、自分の存在を周囲に知らせましょう。



② 飲酒運転の根絶

飲酒運転を絶対にしない！させない！

- 本年10月末現在では、交通事故27件（前年比±0人）発生と、昨年同様に、飲酒運転による悲惨な交通事故が後を絶ちません。

飲酒運転は極めて悪質・危険な犯罪です！

- 国民の皆さん一人一人が「飲酒運転を絶対にしない、させない」という強い意思を持ち、飲酒運転を根絶しましょう。

飲酒運転による交通事故発生状況

	R2	R3	R4	R5.10月末
発生件数	43	38	35	27 (前年同期比±0)
死者数	4	3	3	0 (前年同期比-3)
負傷者数	59	47	40	35 (前年同期比+5)

飲酒運転はなぜ危険か？

- アルコールは「少量」でも脳の機能を麻痺させます！
アルコールには麻痺作用があり、視力の低下や感覚を抑制するなど、脳の動きを麻痺させます。
- 飲酒時には、安全運転に必要な注意力や判断力等が低下している状態となり、具体的には、「気が大きくなり危険な運転をする」、「車間距離の判断を誤る」等、飲酒運転は交通事故に結びつく危険性を高めます。
- 酒に弱いと言われる人だけでなく、酒に強いと言われる人でも、低濃度のアルコールで運転操作等に影響を及ぼすことが各種研究により明らかになっていますので、飲酒したら絶対に車両等を運転してはいけません！



③ 冬道の安全走行

冬道の危険性を理解！

- 冬道ドライブのポイント
 - 1 運転前に必ず行うこと
車に積もった雪を落とす、窓ガラスの曇りをとるなど、しっかりと視界を確保してから出発しましょう。
 - 2 路面状況に応じた安全な速度で運転すること
制限速度にかかわらず、路面状況に応じた安全な速度で走行しましょう。
 - 3 車間距離を十分確保し、早めのブレーキで優しく操作
スリップ事故の多くは停止中前車への追突ですので、車間距離はいつもより長めにとりましょう。
 - 4 「急」のつく運転をしない
スリップの原因となる急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルはやめましょう。
- 自転車の利用は控えましょう！
冬季の自転車利用は、積雪や凍結による転倒事故の危険などが高まりますので、利用を控えましょう。

